

# 令和2年度 人権学習

12月10日（木）、令和2年度人権学習を実施しました。今年度は、講師に南島原市立深江中学校の小玉 澄香先生をお招きして、『部落差別を自分ごととして』という演題で講話をしていただきました。



## 【生徒感想より一部抜粋】

・私は同和地区出身でもなければ、行ったことも見たこともない遠い存在だと思っていたけれど、実は「無関心」という気持ちで誤った情報や偏見、差別を生み出しているということを実感しました。同和地区の人たちが差別される理由や原因はどこにもないのです。人間たちが「自分以下」を求める気持ちが差別を作り、現在まで残してきたのだと思います。差別は私たち人間が作り出したものであるのです、逆に言うとなくす力も持っているということです。それが私たちの使命だと思います。(3年男子)

・部落差別については、中学生の時に調べたことがありました。しかし、1000年以上前の文化的なものが現在でも残っていることは本当に驚きました。私も将来結婚を考えたり、家を立てたりするとき「部落差別」についての実態を本当に理解していなかったら、「差別する側の人間」になっていたかもしれないと思うと怖いと思います。先生がおっしゃった「差別がなくなるのは、差別する人がいるから」という言葉は、どれだけ対策を取っても結局は人間1人1人の心の問題なんだと思いました。(3年女子)